

令和5年度第1回厚木市セーフコミュニティ推進協議会 議事概要

1 開催日時 令和5年7月14日（金）午前10時から11時まで

2 開催場所 厚木市役所 本庁舎4階 大会議室

3 出席者 厚木市セーフコミュニティ推進協議会委員 46人

4 案件

- (1) 役員（副会長）の指名について
- (2) 令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュールについて
- (3) 外傷サーベイランス委員会からの報告

5 配布資料

- (1) 令和5年度第1回厚木市セーフコミュニティ推進協議会会議次第
- (2) 厚木市セーフコミュニティ推進協議会設置規程
- (3) 役員（副会長）の指名について 資料1
- (4) 令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュール 資料2
- (5) 厚木市セーフコミュニティ推進体制 資料3
- (6) 厚木市セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会活動を通して見えてきたもの 資料4
- (7) セーフコミュニティリーフレット
- (8) 高齢者のための安全のしおり

6 会議概要

(1) あいさつ 会長（市長）

委員の皆様には、日頃から本市の安心・安全なまちづくりにおいて御尽力いただき心から感謝申し上げます。皆様には、セーフコミュニティの「事故やけがは偶然の結果ではなく予防できる」という理念の下、市民の皆様と共に、市民の命と暮らし、そして笑顔を守っていただいている。

本協議会は、平成20年6月に発足し、今日まで皆様方にお力添えをいただいた成果として、市民の皆様方にはセーフコミュニティの理念及び我々の想いも届いていると考える。引き続き、皆様にお力添えをいただきながらより一層市民の暮らしと命、そして笑顔を守っていくため、セーフコミュニティ活動への御尽力を改めてお願いする。

本日は、本市の外傷状況について、セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会の委員長から御報告いただく。皆様におかれましては、御報告を踏まえ、安心・安全なま

ちづくりの方向性を考えるきっかけとしていただきたい。

素晴らしい厚木愛が溢れた安心・安全なまちづくりに、より一層御協力いただくことを私から願います。

(2) 案件 議長：会長

ア 役員（副会長）の指名について

資料1

厚木市自治会連絡協議会会長退任に伴い、「セーフコミュニティ推進協議会設置規程」第5条第3項の規定に基づき、会長が今年度の副会長を指名した。

【副会長挨拶】

セーフコミュニティとは、事故やけがは予防できるという考えの下、安心して安全に暮らせるまちをみんなで作ろうという取組である。

日頃から市民の皆様には、交通安全、体感治安と公共の場における安全、子どもの安全、高齢者の安全、防災、自殺予防、職場の安全等、セーフコミュニティ活動に取り組んでいただいている。関係団体の皆様には、活動の手を緩めることなく、取り組んでいただきたい。

こどもたちの夏休みが目前に迫っている時期だからこそ、セーフコミュニティ活動が重要である。これからも安心して安全なまちづくりに、御尽力いただくことを願います。

イ 令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュールについて

資料2

令和5年度セーフコミュニティ活動スケジュール（資料2）について、事務局から説明した。

【委員意見及び質問等】なし

ウ 外傷サーベイランス委員会からの報告

資料3～4

セーフコミュニティの推進体制及び推進協議会の位置付け（資料3）について、事務局から説明した。

厚木市セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会活動を通して見えてきたもの（資料4）について、厚木市セーフコミュニティ外傷サーベイランス委員会委員長から報告いただいた。

【外傷サーベイランス委員会委員長報告】

平成17年から令和4年までの蓄積した救急搬送データによる厚木市でのけがの傾向について報告する。

（スライド10）救急搬送件数自体は、やや減少傾向である。特に、令和2年から新型コロナウイルス感染症の影響により、外出・運動機会が減少したため減少している。

(スライド 11) 年齢別に救急搬送データを見ると、平成 17 年は、0～4 歳、15～19 歳等若い年齢層のけがが多かったが、近年は 65 歳以上のけがが増加している。65 歳以上のけがは、平成 17 年には 19.7%だったが、令和 4 年には 44.1%と救急搬送件数の約半数を占めている。

(スライド 12) 救急搬送データを事故種別に見ると、交通事故の割合が、平成 17 年は 53.9%だったが、令和 4 年には 29.3%まで激減している。その代わり、一般負傷の割合が徐々に増加している。交通事故については、様々な環境対策及びマナー向上の取組が行われてきた結果、事故の激減につながった。一般負傷の増加については、今後の大きなテーマである。

(スライド 13) 年齢別及び事故種別を併せて見ると、交通事故は若い人に多く、一般負傷は 0～9 歳の子ども及び 65 歳以上の高齢者に多い。20～59 歳には、加害や自損行為も多い。10～14 歳は、運動競技によるけがが多い。

(スライド 14～16) けがの発生場所は、自宅が多くなっている。平成 17 年は、自宅でのけがが 23.5%だったが、令和 4 年には 38.3%と増加している。年齢別に見ると、0～4 歳は、転倒等による自宅でのけがが多い。5 歳以上の若い人は、自宅外でのけがが多い。年齢があがると自宅でのけがが多くなる。性別で見ると、男性は車道・歩道等、自宅外でのけがが多いが、女性は居室内でのけがが多い。また、男女とも年齢が上ると居室でのけがが増加する。

(スライド 17) 転倒・転落・墜落によるけがが、増加傾向にある。平成 17 年は、転倒・転落・墜落以外のけがが 69.1%だったが、令和 4 年には 49.6%と半分を切っている。つまり、現在、救急搬送されているけがの半分は、転倒・転落・墜落が関与している。

(スライド 18) 男女とも年齢が上ると、転倒によるけがが非常に多くなる。0～4 歳は、転落が多い。50 歳以上の男性も、階段や踏み台から等の転落が多い傾向がある。

(スライド 19) 転倒・転落・墜落の際の飲酒状況を調べると、男性は圧倒的に飲酒ありの状況によるけがが多い。特に 40～60 代男性に顕著である。

(スライド 20～22) 自宅内での転倒・転落・墜落の発生時間としては、8～11 時台の居室内が多い。発生場所及び時間別に詳しく見ると、居室は 8～11 時台が危険である。階段は、1 日中転落の危険が高い。廊下も同様に 1 日中危険が高い。トイレは 9 時台、風呂場は 19 時台、台所は 15 時台が危険である。ベランダは 8～9 時台が多く、更に転落の危険もある。庭は、8 時～正午までが危険であり、更に脚立・屋根等からの墜落の危険がある。

(スライド 23～24) 交通事故の状況については、交通事故数自体は減少しているが、自転車事故の比率が大きく増加している。特に、令和 2～4 年に大幅に増加している。その理由は、新型コロナウイルス感染症の影響により、公共交通機関の利用を避けて自転車を利用する人が増加したと考えられる。自転車事故の中でも、若い人は対車、対二輪車との事故が多い。60 代以上になると対人及び単独事故が多い。高齢者は、高齢ドラ

イバーの運転免許証返納に伴い、アシスト付き自転車に乗り換える傾向にある。運動能力の低下している上に、スピードが出やすい自転車に乗るとけがをしやすい。

(スライド25～29) 厚木市立病院データの蓄積により見えてきた傾向としては、男性は頭蓋内損傷が、女性は大腿骨骨折が多い。つまり、男性の場合は、転倒した際に手をつくことができず頭を打つことが多く、女性は尻餅をつく傾向にある。男性芸能人の例を見ても、細川俊之氏、谷啓氏等は頭のけがで死亡している。女性の場合は、黒柳徹子氏、木の実ナナ氏等は、転倒により大腿骨を骨折している。このように、元気で活躍している芸能人も大けがをしている。転倒して手首を骨折する人は、頭蓋内損傷や大腿骨骨折等の大けがを予防できている。男女のけがの傾向は、救急搬送データからも同様のことが言える。

(スライド30～31) 厚木市立病院データによると、0～14歳の入院の原因1位及び外来2位が「有害作用、他に分類されないもの」となっている。これは、アレルギー反応によるアナフィラキシーショックである。特に、食物アレルギーが顕著である。今後は、こどもの外傷対策として、アナフィラキシーについても対象とする必要があると考える。今後もデータを活用して、厚木市セーフコミュニティの推進に寄与していく。

【委員意見及び質問等】

委員 居室内の転倒・転落が多いことに驚いた。「居室」という分類に、介護施設等は含まれるのか。その区別が分かれば、対策も検討できるのではないか。

委員長 救急搬送データでは、施設は「自宅外」に分類されている。よって、「居室」は自宅のみである。介護施設については、僅かではあるが近年少しずつ増加している。今後は、施設内でのけがも注視していく。

委員 介護施設内でのけがの傾向が分かれば、介護の方向性についても検討できる。

副会長 厚木市におけるこどもの溺死・溺水は、どのような傾向にあるのか。

委員長 厚生統計により、溺死・溺水の件数は把握できる。傾向については、以前、統計分析を試みたが件数が非常に少ないため困難である。

(3) その他

自転車利用時のヘルメット着用について、交通安全対策委員会委員長から紹介した。

【交通安全対策委員会委員長】

外傷サーベイランス委員会委員長から、特に男性は、転倒すると頭を打つ傾向にあると御報告があった。自転車を買って物やレジャーで利用される方も多いと思うが、ぜひヘルメットを着用していただきたい。今年7月から厚木市では、指定店でヘルメットを購入すると2,000円補助金が出る。活用していただき、ヘルメット着用にご協力をお願いしたい。

高齢者の安全対策委員会にて作成した「高齢者のための安全のしおり」について、事

務局から紹介した。

(4) 閉会 副会長

今日は、貴重なデータを外傷サーベイランス委員会委員長に示していただき、お礼申し上げます。委員の皆様からも貴重な質問や意見があった。これからもデータを活かして安心・安全なまちづくりに邁進していきたい。